



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「ウィ・サーブ」

一宮LCスローガン 「チャレンジ! 未来へ向けて ウィ・サーブ」

第 1512 回例会

2019~2020

No.7

例会プログラム

と き 2019年10月9日(水)12:15

ところ ザ・グランドティアラー一宮

例会担当 青少年教育委員会

スピーカーのご入場

開会のゴング

国旗に礼

国歌「君が代」斉唱

「ライオンズクラブの歌」斉唱

「ライオンズの誓い」唱和

「クラブスローガン」唱和

スピーカーのご紹介

会長挨拶

委嘱状伝達

会員キー賞伝達

100周年記念会員増強賞伝達

誕生日のお祝い

各委員会報告

幹事報告

スピーカーの時間

アテンダンス報告

テールツイスター報告.

「また会う日まで」斉唱

ライオンズローア

閉会のゴング

スピーカーのご退場

次の理事会 (第8回)

と き 2019年10月23日(水)11:00

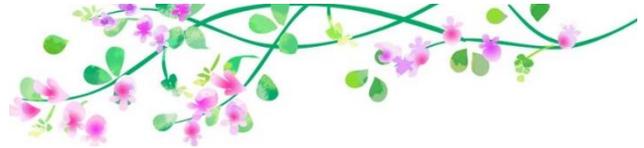
ところ 一宮商工会議所ビル 4F 小ホール

*今回は理事以外の方でもご参加できます。

次の例会 (第1513回)

と き 2019年10月23日(水)12:15

ところ 一宮商工会議所ビル 3F 大ホール



スピーカーのご紹介

ライオンズクラブ国際協会 334-A地区

LCIF国際関係委員長

(所属 美浜ライオンズクラブ)

L大村 潤一

◎テーマ

「LCIFキャンペーン100」

◎ライオン歴

- ・2008年~2009年度 クラブ幹事
- ・2010年~2011年度 地区YCE委員
- ・2013年~2014年度 クラブ会長
- ・2017年~2018年度 地区LCIF・国際関係委員
- ・2019年~2020年度 地区LCIF・国際関係委員長



【委嘱状】

2019~2020年度ライオンズクラブ国際協会 334 複合地区
第66回年次大会委員会 副事務局長 L野村政司

2019~2020年度ライオンズクラブ国際協会 334 複合地区
第66回年次大会委員会 総務部会 部会長

L五藤一樹



◎会員キー賞

今迄にスポンサーした新会員が1年と1日以上在籍した事を条件に会員キー賞が贈られる。



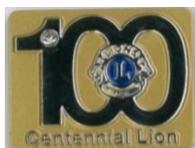
L五藤一樹
(メンバーシップ アドバンスメント キー 5名)



L小川康則
L高橋 敬
(メンバーシップ キー 2名)

◎100周年記念会員増強賞 (ダイヤモンド)

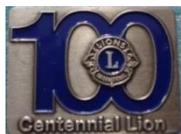
スポンサーした新会員が3年と1日グッドスタンディングで存続すると贈られる



L村 橋 道 夫

◎100周年記念会員増強賞 (シルバー)

スポンサーした新会員が1年と1日グッドスタンディングで存続すると贈られる



L佐 藤 彰 L小川康則
L高 橋 敬 L田中秀雄
L東 宏 卓 L古川竜生
L新谷匡人

◎お誕生日おめでとうございます

10月 1日 L 岩田昌志
11日 L 石川英明
12日 L 楠田晴明
12日 L 岡村強史
18日 L 松山英樹
21日 L 稲川 弘
21日 L 下田心也
24日 L 黒野利一
25日 L 中沢成光
25日 L 野村一詞
26日 L 佐々木光男
31日 L 平光昌彦
31日 L 光樂朋尚

◎LCIF \$1,000寄付ありがとうございます

L 吉江有希子 (2)

()は回数

第 6 回理事会報告

と き 2019年9月19日(木)11:00

と ころ 一宮商工会議所ビル4階 402

出席者

L小川 L中川 L高橋 L久保 L山中
L御子柴 L中沢 L田中(幸) L石黒 L青山
L 大山 L杉山 L野村(政) L坪内 L吉田
L土本 L立川

議題

1, 2018-2019年度夏季YCE 派遣帰国報告会(9/8)報告

3R YCE・レオ副委員 L立川智浩より

愛知県から出発した約 25 名程が集まり、それぞれ帰国の報告を写真や感想を交えて行われた。

皆さん事故もなく無事に過ごされ、非常に良い思い出が出来たのではと報告。

2, 3R 第1回五献推進委員長会(9/13)報告

五献推進委員長 L坪内章浩より

各クラブの年間活動計画及び活動報告が行われた。

当クラブは年に1回行っているが、中には年4回行うクラブもあった。

今後も各クラブの実情に基づいて、積極的な献血活動を行っていきましょうと報告。

3, チャリティゴルフ大会準備委員会(9/19)報告

親睦委員長 L久保辰也より

現在の協賛や参加人数について確認し、組み合わせ表について意見いただいた箇所の変更を行い、スタート表の発送を10/上までには行う事とした。

今後、詳細については委員長及び幹事に一任する事とし、準備を進めていきますと報告。

4, 江南LC「江南LC第34回市民の集い」について

幹事 L高橋 敬より

10/27 に江南 LC から市民の集い「吉本新喜劇がやって来る！」を開催しますので、是非お越し頂き鑑賞下さいと案内があったと報告。

5, その他

2019-2020年度334複合年次大会 総務部会について 幹事 L高橋 敬より

L野村(政)、L五藤の今後必要となる会議の登録料についての報告があり登録料についてはクラブ負担(ガバナー活動費から)とし、不足分については予備費を使わせて頂くことについて審議、承認された。



第 1511 回例会報告

と き 2019年9月19日(木)14:15
 ところ 名古屋文理文化フォーラム



今回の例会は 334-4 地区ガバナーL 根岸昭雄公式訪問合同例会として名古屋文理大学文化フォーラム中ホールにて開催され、3R・1Z7クラブ、3R・2Z5クラブの計12クラブの会員が参加しました。

当日は、天気も良く、多数のキャビネット役員や3Rのリジョン役員も参加されていました。海部LC会長L 藤田雅也の開会の辞及びゴングにて例会が始まり、多くのメンバーによる国家君が代、ライオンズクラブの歌の斉唱のあと津島LC会長L後藤真寛によるライオンズの誓いが行われました。



その後、各役員及び参加クラブの紹介に続いてガバナーL 根岸昭雄のご挨拶がありました。その話の中で、ライオンズの会費における食費の割合の引下げについて話されました。私自身、財務委員という立場から食費の割合については考えさせられると共に人数の少ないクラブについては本当に考えていかなければいけない問題だと感じました。

新会員の紹介があり当クラブからも多くのメンバーが紹介されあらためて自クラブの組織の大きさを感じました。アテンダンス報告、また会う日まで斉唱、ライオンズローアと進み、最後に稲沢LC会長L 田島岑夫の閉会の辞、ゴングにて例会は終了しました。



当日は、たいへん忙しい中ご参集頂きました会員の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

例会担当 財務委員 野寄 章 記

会員投稿欄

一宮群団

合同例会には極力出席を常としているけれど今回の欠席はとても悔やまれる。と同時に例会に出席しなくて、この投稿は難しいからである。

第二副地区ガバナーは着々とその準備へと進まれていることと思う。

今回の合同例会でその様子をうかがえなかったことが心残りである。

参謀にL 野村政司とても心強いサポーターに文句など少しもない。

どうぞ 我がクラブメンバー達よ！

心を一つに結束して群団を固めようではないか！



大島八重子

第 1511 回例会アテンダンス報告

会員数 205名 家族会員 104名

例会出席対象会員数 101名

出席者 34名(メーク・アップ 11名)

出席率 45%

尙 KAN

一宮市栄1丁目5-16
 TEL 25-0029 FAX 24-8614
 L 大山 恭範

サンライズ 法律事務所



一宮市神山三丁目3番9号
 TEL 43-6225 FAX 43-6229
 L 岡本 将嗣

第20回一宮ティーボール大会

とき 2019年9月14日(祝)・21日(土)

ところ 平島公園野球場



9月14日晴れやかな秋空のもと、一宮ライオンズクラブ旗争奪 第20回一宮ティーボール大会が開催されました。

3R 1Z ZC L 櫻井伸にもご出席頂き、ティーボールという球技を初めて見学をし、野球やソフトボールに類似した球技で男女問わず幅広い年齢が楽しめるスポーツであると感じました。子供だけでなくお母様方も一緒にプレーをし、みんな真剣ながら笑顔が多かった事が印象的でした。

9月21日の決勝戦では、一段と真剣で緊張感もただよう雰囲気でした。決勝戦はサヨナラホームランで決着がつき、打った少年と仲間たちは涙を流して喜び、大きな感銘を受けました。

青少年教育副委員長 L 加藤 努

《参加者》

L 佐藤(彰)、L 高橋、L 吉田、L 志賀、L 加藤(努)、
L 中川、L 杉山、L 山中、L 石黒、L 野寄、L 井尾、
L 尾関、L 三輪、L 古川、L 大山、L 小川、L 久保、
L 牛田 (敬称略、順不同)



2019~2020 年度

夏期YCE派遣予備申込募集

年齢：16~21歳

申込：YCE 委員長 L 土本和佳
又は事務局まで

派遣先：ヨーロッパ圏、アジア、
オセアニア (全体で1~2名程度)
アメリカ (全体で2~3名程度)

締切り 10月21日(月)

- ★英検2級以上または派遣先国語堪能な方
- ★帰国後YEOB会でYCE事業に協力できる方
- ★ノンライオンの子弟歓迎



インテリア&リフォーム
(株)北 斗

一宮市泉 1-15-2
TEL 85-5340 FAX 85-5341
L 小川 康 則

尚和堂

肥満・自律神経に新漢方栄養療法

オク夕薬局

一宮市八幡1-2-3 ☎ 45-7840
L 奥田 昌 治

電気冷暖房工事設計施工

奥村電機株式会社

一宮市大宮3丁目5-25 ☎ 72-8286 (代)
L 奥村 一 彦

株式会社 シビルズ

一宮市大浜 2-6-20
TEL 73-8955
L 長田 太

薬物乱用防止キャンペーン

と き 2019年10月4日(金)

と ころ 各中学校

【丹陽中学校】

10月4日、前日の激しい雨もすっかりやみ、晴天の中、世界ライオンズ奉仕ディーに合同アクティビティである薬物乱用防止キャンペーンを行いました。一宮LCは、5校（丹陽、南部、今伊勢、葉栗、浅井）の中学にて、メンバーが、早朝より、リーフレットと絆創膏を配布いたしました。

丹陽中学校は、800名越えの生徒数です。当日は、混乱も予想いたしましたが、ベテランの諸先輩方のアドバイスにより、スムーズに配布できました。このような活動が、これから大人になっている子供たちの成長に役立てばと、願うばかりです。

早朝にもかかわらず、参加していただいたメンバーの方々には大変感謝いたします。ありがとうございました。



担当 吉江有希子

【参加メンバー】

LC 青山、LC 牛田、LC 尾上、LC 土本、LC 松本、LC 古川
LC 吉江

【浅井中学校】

6名のメンバーで浅井中学校に於いて薬物防止キャンペーンを行いました。生徒さんたちは素直に受け取って頂き薬物の防止に役立てたと思います。また先生方もご協力頂き大変スムーズに行えました。



担当 中川幸男

【参加メンバー】

LC 東、LC 伊藤、LC 志賀、LC 下田、LC 吉田、LC 中川

【南部中学校】

南部中学校の校門1か所にて、メンバー5名で薬物乱用防止のリーフレットと絆創膏を生徒に配布しました。

今年の7月に薬物乱用防止教室を開催していますが、今回はそれに引き続いてのキャンペーンです。限られた登校時間に生徒が一斉に集中するため、慌ただしい中ではありましたが、生徒たちの元気な朝



のあいさつの声に囲まれながら、一人でも多くの生徒に手渡そうと、私たちも一生懸命でした。先生方のご協力もあって、無事活動を終えることができました。

早朝より配布にご参加いただいたメンバーの皆さん、お疲れ様でした。

担当 高橋 敬

【参加メンバー】

LC 大山、LC 三輪、LC 小川、LC 久保、LC 高橋

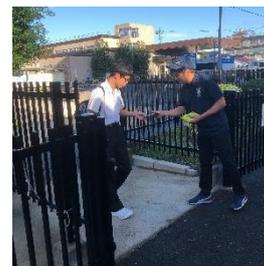
【今伊勢中学校】

早朝より今伊勢中学校の校門3か所にて、メンバー6名で薬物乱用防止のリーフレットと絆創膏を生徒達に配布しました。

今伊勢中学校は校門が3か所あったため各2名ずつに分かれての配布となり、纏まって登校される生徒さんへの配布は少々慌ただしくなりましたが、生徒たちの元気な挨拶でとても清々しい朝を迎えることが出来ました。

先生方のご協力もあり無事に活動を終えることができました。

ご参加いただきましたメンバーの皆様本当にお疲れ様でした。



担当 岩田昌志

【参加メンバー】

LC 井尾、LC 石黒、LC 加藤(努)、LC 矢田、LC 渡邊、LC 岩田

【葉栗中学校】

葉栗中学校の東門、西門の二か所にて薬物乱用防止キャンペーンのパンフレット配布をメンバー5人で行いました。前日から天気



が危ぶまれましたが、集合時間の7時には雨雲も去り暑い中での活動となり登校してくる生徒たちに手渡しをしました。また、葉栗中学校は自転車通学の生徒が多くパンフレットを渡すのにも苦労しました。

このキャンペーンを通じて一人でも多くの生徒さんたちが薬物の恐ろしさを理解してもらいたいと願います。

担当 LC 朝比奈 純一

【参加メンバー】

LC 岡村、LC 平光、LC 朝比奈、LC 佐藤(彰)、LC 山中、

活動するライオンズ

コロンビアの生活を変えるキッズサイト・プログラム

コロンビア



南米コロンビアに暮らすエステバン君は、今まで一度も視力検査を受けたことがなかった。初めて見る検査器具はエステバン君を一瞬不安にさせたが、ライオンズがすぐに和らげてくれた。検査は極めてシンプルなものだった。

「真っすぐ前を見て、検査器具の前に現れる小さなウサギを探すこと」エステバン君の世界が今、変わろうとしている。

視力に問題があることに気づかないまま日常生活を送る子どもは少なくなく、それはライフスキルの習得や学校の勉強にも影響を及ぼす。更に障害の種類によっては、放置したままであると最終的には視力を失う危険性もある。

コロンビアでは、視力ケアを行う環境が整っていないのが現状だ。地元のライオンズはこの状況を打開すべく、「ライオンズ・キッズサイト・コロンビア」を立ち上げた。これはアメリカで実績を上げているプログラムで、活動資金はライオンズクラブ国際財団（LCIF）からの支援で成り立っている。具体的には、生後6カ月から6歳までの子どもたちに眼科スクリーニング検査を実施する。

対象範囲を高校生にまで拡大することもある。検査で問題が見つかった場合、必要に応じてライオンズが眼科医を紹介し、精密検査を受けるように指導するのだ。現在、ライオンズはコロンビア全域でこのプログラムを展開。およそ600万人の子どもたちに視力検査を提供することを目標としている。

LCIFはこの活動のために6万9022ドルの交付金を拠出、ライオンズは視力検査用の器具を10台購入した。元検眼医でライオンズ・キッズサイト USA 財団の会長でもあるエドワード・コルデス元国際理事は、自らコロンビアに赴きライオンズに視力検査の方法を指導、また彼らと一緒に地元の小学校やデイケア施設を訪問した。その結果、118人の子どもが視力検査を受け、そのうち20人に眼科医が紹介された。エステバン君もその中の一人だ。

その後、エステバン君は斜視と診断された。放っておくと弱視を引き起こす原因となり、最悪の場合失明する危険性もあった。現在は治療によって、以前より物がはっきりと見えるようになったエステバン君。もう失明の心配はない。

「さまざまな技術を持った専門家が私たちの小学校で検査を実施してくれたのは、本当に素晴らしい出来事でした」そう話すのは、インマクラダ・ソラーノ・デ・ヘルナンデス校長。「みなさん優しく親切で、とても熱心な方ばかり。地域を代表して、心から感謝の意を表します」ライオンズは地方にもサテライト・クリニックの建設を進めている。

この大きなチャレンジについて、コルデス元理事は次のように話す。

「このプログラムに参加するライオンズは皆、情熱を持っています。そしてその情熱は周囲の人々を感化し、更に多くの強力な支援者を作り出していくのです」

ライオンズ・キッズサイト・コロンビアは、数週間で1万6000人の子どもたちに視力検査を実施。そのうち1600人以上が治療が必要と判断され、カリブ眼科財団とコロンビア保健省が費用を提供し治療が施された。LCIFの支援により、コロンビアのライオンズは視力障害と戦う力強い立場を示すことが出来た。そのインパクトはきっと今後も継続していくはずだ。



Lions Clubs International
FOUNDATION